

地域と組織の発展を目指そう！ 最優秀賞に岩根さん、合志さん

青壮年部発表大会を9月3日、パシオンで開き「盟友の主張発表大会」「チャレンジ事業コンペティション大会」「組織活動実績発表」を行いました。



歌丸部長あいさつ

JA青年組織綱領唱和



大田黒 大津支部長



東副部長(菊池)



松永 西合志支部長



松本副部長(合志)

盟友の主張発表大会

最優秀賞 岩根 雄飛さん(旭志)



岩根さんは「ピンチをチャンスに」と題して発表。

深刻な人手不足などを問題視し、地域の生産基盤や技術力強化のため、ICT導入や中長期の雇用をサポートする窓口をJAに設置することを提言しました。

七城、旭志、西合志、大津の盟友が農業、農村、JA、青壮年部に関して将来に向けての希望、意見、提言を発表しました。

組織活動実績発表

菊陽支部 岩下 勇介さん



盟友数を新たに増やす活動としてJA主催の「婚活」をアピールし、農地の減少による経営対策のため少ない面積でも収入を確保するにはどのように支部活動を進めていくかを発表しました。

チャレンジ事業 コンペティション大会

最優秀賞 合志 裕太さん(菊陽)

合志さんは「これからの時代にはポリマーを」と題して発表。秋冬ニンジンの栽培に天然由来の吸水性ポリマーを使うことで、自然環境への負



荷軽減につながり、土中の保水力を上げ、発芽率の向上が期待できるなどを述べ必要性を訴えました。

菊池、泗水、合志、菊陽の盟友が新たな取り組みへのチャレンジを発表。「自らの経営を考え、所得向上を目指し、刺激し合い、地域を担う農業者として自立しよう」と盟友が声を上げ始まった大会は、JA菊池独自の大会として10回目の開催となりました。最優秀賞受賞者には、副賞として青壮年部委員長賞、JA菊池賞が授与されました。賞金を元手にチャレンジ事業を実践し、次年度の大会で成果を発表予定です。